



2月5日、大勢の市民に出迎えられ、市役所に初登庁する嶋田芳博市長

市民の皆様が幸せを感じることができる 『元気で新しい鹿屋市の創造』に 全身全霊を傾注

しまだよしひろ 嶋田芳博 第2代鹿屋市長が就任

鹿屋市長選挙が平成22年1月24日に行われ、投票票の結果、嶋田芳博氏が当選を果たし、2月5日、第2代鹿屋市長に就任しました。

2月5日、市職員や大勢の市民に出迎

えられて、市役所に初登庁した嶋田芳博市長は、同日行われた就任式で、「今こうして、この壇上に立つと、改めて鹿屋市長としての責任の重大さを痛感しています。今後は、『市民の皆様が幸せを感じることができ、元気で新しい鹿屋市の創造』を目指して、全身全霊を傾注します」と抱負を述べました。

また、市職員に対して、「私は、民間企業の経営者出身でもあり、長年、商店街活動やボランティア活動を通じて、市民の暮らしの実情を間近で拝見し、今、市政に何が求められているかを肌で感じてきた。これからの地方自治体の運営には、企業的経営感覚が不可欠であると確信している。職場は自分で創っていくところであり、市職員一人ひとりが今一度、市役所に

入所した頃を思い出し、新たな気持ちで、市民のために仕事をすることを喜びと感じる職員へ変化し、自分の職場への誇りを持って、与えられた業務に励んでいただきたい。

これからのまちづくりは、官民一体となった自立した地域を目指し、市役所が変わった、鹿屋が変わったと言われ、全国に誇れる元気の鹿屋に、皆さんと一緒にやっつけていこう」と訓示しました。



▲2月5日の就任式で、市職員に訓示する嶋田芳博市長